

# 瑞穂の里

～ 子供たち一人一人のよさが輝く学校を目指して ～

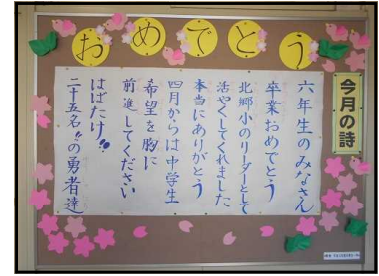
角田市立北郷小学校  
学校便り  
第15号(文責:校長)  
令和3年3月24日

## 「巣立ちの春」

～ 1年間の御支援と御協力をありがとうございました ～

本日3月24日、令和2年度の修了式を迎えることができました。1年生から5年生の子供たちに修了証書を渡し、この1年の頑張りを確認しました。

また、過日3月19日には卒業式を行いました。新型コロナウイルス感染症の対策を取りながらの式になりましたが、保護者の皆様に御臨席を賜ることができましたこと、厚く御礼を申し上げます。式では、卒業生に向け、次のような話をしました。



これからの生活において、何もかもが成功するとは限りません。一生懸命やってもうまくいかないこともあるかもしれません。そんなときは、人の言葉に耳を傾け、自分自身を振り返りながら、あきらめずに努力を続けてください。地道に頑張っている姿を必ず誰かが見ていてくれます。先生方、お家の方、友達、そして何より自分自身が頑張っている自分を見ています。皆さんには未来があります。夢があります。自分を信じて目の前の道を一步一步前進してください。

卒業生25名は、引き締まったよい表情で学び舎を巣立っていきました。4月から始まる新たなステージでも、一人一人のよさが生かされていくことを願っています。

雨の日も風の日も、太陽が照りつける日もみんなで学び合った令和2年度。私たちの生活は環境や自然とともにあることを実感したこの1年です。新型コロナウイルスの感染をどのように防いでいくか、2月13日に起こった福島県沖地震で再認識した災害への備えの在り方等、学校の教育活動は子供たちの健康と安全なくして成り立たないことを改めて胸に刻んだ次第です。

学校ができることは何かを模索しながらの教育活動になりましたが、このような状況の中でも、日々の学びを大切にしていきました。自分の思いを文章で表せるようになった1年生。先日、「もうすぐ春が来るね。」「春の次は夏、そして、秋、冬。」と話してくれました。季節がめぐって月日が流れることが子供たちなりに理解していることが伝わり、入学から大きく成長したことを感じました。6年生とのお別れ会ですばらしい表現をした2年生。宇宙について調べてまとめ上げた3年生。地域の危険箇所を調べて防災マップを提案した4年生。一年を通して漢字の学習に熱心に取り組んだ5年生。北郷小のお手本として全校をリードした6年生。どの学年もこの1年でできることが増え、一人一人の子供たちが確かに前進していることを感じます。

子供たちが健やかに過ごすことができましたのも、毎朝、子供たちを送り出してくださった御家庭の皆様方の御協力があったからこそと感じております。

1年間、たくさんの御支援をいただきまして、本当にありがとうございました。明日からの春休み期間も健康に留意なさってお過ごしください。

4月8日の始業式に、元気な子供たちに会えるのを楽しみにしています。